

## 《避難所体験～被災したらどうする？～》実施報告

3月20日（祝・水）碑文谷体育館前で「避難所体験～被災したらどうする？～」が行われました。

強風にもかかわらず、150名を超える方々にご参加いただきました。

会場では、起震車や発電機・段ボールベッド・災害用トイレなどの体験を通して、「避難所にはどのような施設があるのか？」少し理解が深まったのではないのでしょうか。

また、アルファ化米の試食や、参加賞で差し上げたビスケットなど災害時の食品も試食して味を知っていただきました。

防災グッズ販売のコーナーも常に盛況で、災害の備えに対する関心の高さが伺えました。

体育館の中では、AEDを使った救命講習もおこなわれており、不測の事態に向けて自分たちが何を知っておかなければいけないのか？何を備えていかなければいけないのかを考える、良い一日になりました。



大人も子どもも起震車体験頑張りました。  
目黒区の起震車は、震度7まで体験できます。



### 発電機

コツをつかまないとなかなか1回では始動しません。

### ダンボールベッド

簡単に組み立てられて200kgまで大丈夫。  
脚の不自由な方にもとても役立ちます。



### 災害用トイレ

マンホールに直結させる非常用トイレ。



### 防災資機材倉庫

碑文谷グラウンドには防災倉庫の他に防災資機材倉庫もあります。



### 防災グッズ販売コーナー

先日行われた「避難所運営協議会講演会」の時に講師としてお越しいただいた菊池さんがこの日も来てくれました。実際に役に立つ防災グッズコーナーには、たくさんの方がいろいろな質問をしていました。



### かまど君

お湯を沸かして「アルファ化米」の調理準備です。



かまど君で沸かしたお湯でアルファ化米を調理します。みなさん真剣に見学していました。



この日は調理したアルファ化米に温めたレトルトカレーをかけて、「カレーライス」として配布しました。  
発災時に暖かい食べ物を摂れることはとてもありがたいですね…

祝日の一日、目黒区役所・碑文谷体育館関係者・運営を手伝っていただきました各町会・住区・ボランティアの皆様ご協力いただき、誠にありがとうございました。  
これからも様々な企画を考えていきますので、一人でも多くのおみなさまのご協力をよろしくお願いたします。

碑文谷6丁目自治会長 戸田 哲郎